

袋井市公共下水道事業

中 期 経 営 計 画

(平成28年度～令和2年度)

実 績 報 告 書

令和3年9月

袋井市下水道課

平成28年3月に策定した「袋井市公共下水道事業中期経営計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）」の達成状況等について、平成28年度から令和2年度までの決算に基づき、次のとおり報告いたします。

なお、令和2年度から公営企業会計に移行していますが、本計画は、特別会計を基準としておりますことから、特別会計に置き換えています。

（※令和2年度の「袋井市下水道事業経営戦略」策定時に、令和元年度決算時点までの各数値等を報告済）

1 計画期間の状況

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、公共用水域の水質保全のための重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

<事業の推進>

■公共下水道事業は、平成28年度に、より効率的な汚水処理を進めるため、公共下水道基本構想の見直しを行い、将来の人口減少や財政状況等から、公共下水道区域の計画面積を2,615ヘクタールから1,884ヘクタールに731ヘクタール、約28パーセントを縮小しました。

■平成30年度には、既存の施設や設備の計画的かつ効率的な改築を実施するため、袋井市下水道事業ストックマネジメント計画を策定しました。

■下水処理場の安定的な維持管理の実施と民間手法によるコスト削減のため、包括的民間委託による管理運営を行いました。

第Ⅰ期包括的民間委託：平成25年度～平成27年度（3年間）

第Ⅱ期包括的民間委託：平成28年度～令和2年度（5年間）

第Ⅲ期包括的民間委託：令和3年度～令和7年度（5年間）

<経営の健全化>

■公共下水道事業は、令和元年度に、水道料金等懇話会を設置して、将来にわたる安定的な経営に向けた下水道使用料のあり方等について協議し、この結果に基づいた「意見書」が提出され、令和3年4月からの使用料改定が提言されました。令和2年度に、市で提言を踏まえ検討した結果、使用料改定は必要であると判断しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う市民生活への影響等を考慮し、改定を見送りました。

■公共下水道事業の経営は、事業の計画的な推進や維持管理コストの抑制、公営企業としての経営改善の取組などを行っておりますが、国の方針で示される使用料単価に対して不足が生じており、一般会計からの繰入金の補てんによって事業を推進しています。また、平成28年度から令和2年度の繰入金の年度平均は、9億7千万円余となっており経営の健全化や市民負担の適正化を図る観点から、使用料の改定が必要となります。

■令和2年度には、財政の健全化を図るため、地方公営企業法を適用し、特別会計から公営企業会計に移行しました。

■また、同じく令和2年度には、総務省からの要請に基づいて、「水道料金等懇話会意見書」や「中期経営計画」における成果を踏まえた、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を新たに策定しました。

■今後は、これまでの「中期経営計画」を引き継いだ「経営戦略」に沿って経営の効率化を図ってまいります。

2 事業計画と実績

(1) 中期財政収支計画・実績

ア 特別会計収支計画・実績

(単位:千円)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
収入	受益者負担金・分担金	計画	25,245	50,000	25,922	30,368	40,000
		実績	43,226	45,181	31,744	46,133	32,562
	使用料・手数料	計画	349,801	379,000	387,816	379,022	380,000
		実績	366,834	379,118	379,554	386,670	350,512
	国庫補助金	計画	94,870	259,000	285,000	232,907	592,000
		実績	109,900	159,000	285,000	324,030	728,590
	一般会計繰入金	計画	1,096,000	1,063,000	942,000	931,000	983,000
		実績	1,082,000	1,036,492	896,800	904,603	949,000
起債	計画	334,000	381,000	819,700	804,100	1,200,000	
	実績	436,000	453,800	714,100	725,300	871,600	
諸収入(繰越金を含む)	計画	15,084	16,000	15,562	26,603	16,000	
	実績	59,088	88,036	53,302	41,079	52,757	
合 計	計画	1,915,000	2,148,000	2,476,000	2,404,000	3,211,000	
	実績	2,097,048	2,161,627	2,360,500	2,427,815	2,985,021	

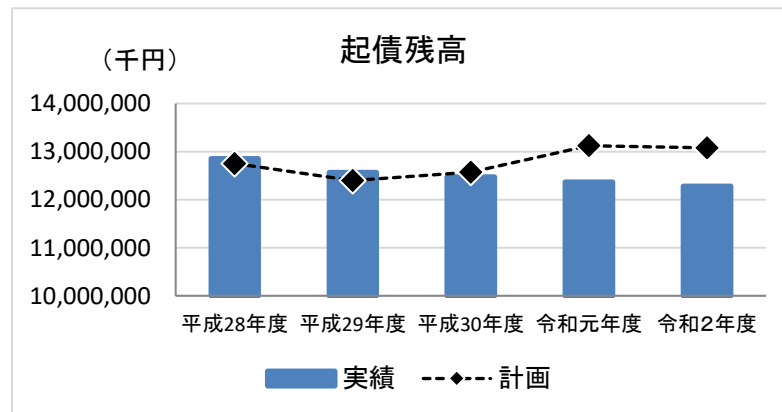
支出	一般管理費	計画	70,283	87,000	94,828	92,935	74,000
		実績	68,507	81,639	90,572	70,835	74,818
	維持管理費	計画	370,606	331,000	355,164	378,121	391,000
		実績	390,364	346,434	342,026	385,882	264,449
	建設費	計画	485,034	728,000	1,024,414	911,184	1,675,000
		実績	576,171	703,713	916,115	920,263	1,170,955
	起債償還金	計画	975,059	988,000	995,594	1,015,760	1,056,000
		実績	971,647	979,346	990,902	1,006,515	1,035,348
消費税額	計画	8,018	8,000	0	0	9,000	
	実績	6,251	2,432	0	0	0	
予備費	計画	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
	実績	0	0	0	0	0	
合 計	計画	1,915,000	2,148,000	2,476,000	2,404,000	3,211,000	
	実績	2,012,940	2,113,564	2,339,615	2,383,495	2,545,570	

※一般管理費は人件費を含む

イ 起債残高(各年度末残高)

(単位:千円)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総 額	計画	12,750,723	12,397,723	12,571,723	13,121,723	13,075,723
	実績	12,854,723	12,565,173	12,471,226	12,367,200	12,278,322



(2) 中期指標

(単位:%)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収益的収支比率 ※1	計 画	25.5	27.8	27.8	27.2	25.8
	実 績	29.6	33.1	30.4	29.2	29.3
	達成率	116.1	119.1	109.4	107.4	113.6
繰入金比率 ※2	計 画	57.2	49.5	38.0	38.7	30.6
	実 績	51.6	47.9	38.0	37.3	31.8
	達成率	110.9	103.3	100.0	103.8	96.2
経費回収率 ※3	計 画	41.5	74.4	74.9	74.9	74.9
	実 績	45.8	74.4	74.9	75.4	66.2
	達成率	110.4	100.0	100.0	100.7	88.4
使用料徴収率	計 画	98.1	98.9	99.0	99.1	99.2
	実 績	99.3	99.2	99.3	99.2	99.1
	達成率	101.2	100.3	100.3	100.1	99.9

※1 収益的収支比率=(使用料+諸収入)÷(支出合計-下水道建設費)

※2 繰入金比率=繰入金÷収入合計

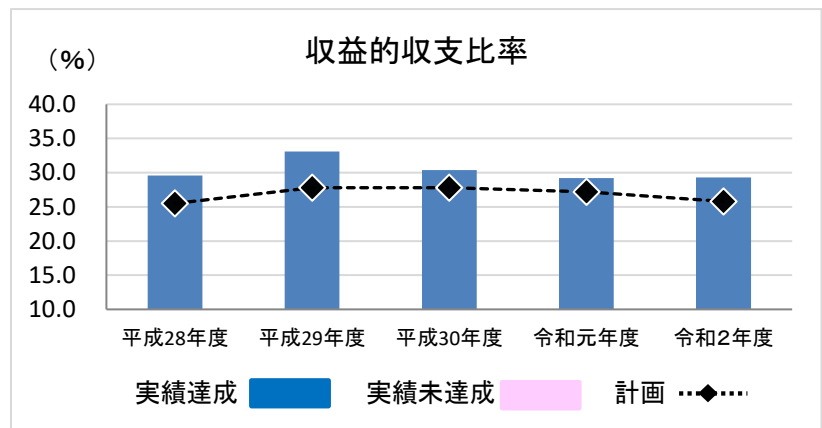
※3 経費回収率=使用料収入÷(維持管理費+起債償還金のうち汚水処理分)
(平成29年度以降は新方式を適用)

◇達成率欄の ■ は達成、■ は未達成

ア 考察

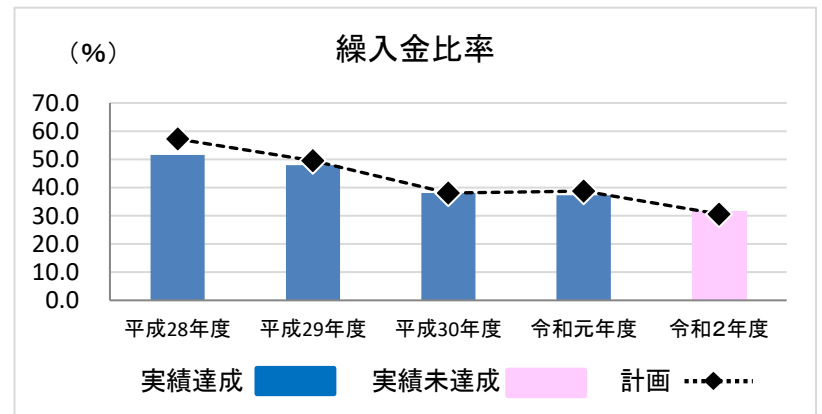
(ア) 収益的収支比率

経過と今後
<p>下水道整備が進み、下水道使用者は増加しているが、節水意識の向上や節水機器の普及などにより、一人当たりの有収水量は減少傾向にあり、使用料収入の伸びが鈍化しているが、ほぼ横ばいで推移した。</p> <p>長期的な安定経営のため、引き続き、接続率や使用料の徴収率の向上、維持管理経費の節減に努める。</p>



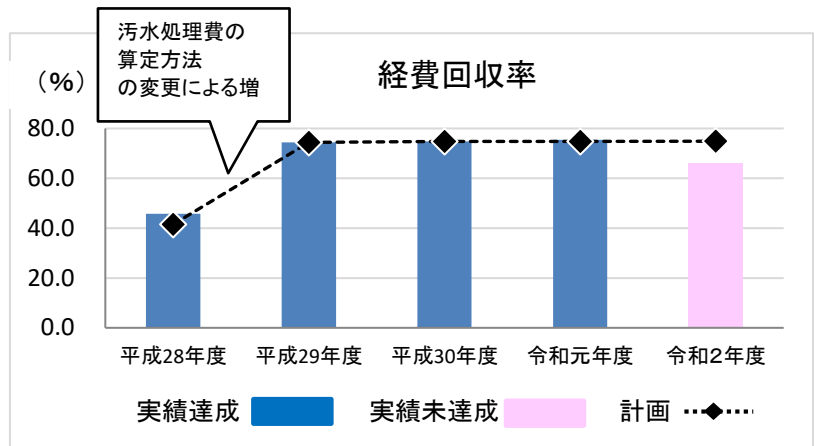
(イ) 繰入金比率

経過と今後
<p>受益者負担金・分担金や事業の増加に伴う国庫補助金、起債の増により、繰入金比率は概ね計画に近い値で推移し、その比率は年々低くなっているが、一般会計からの繰入金で事業を推進している状況は変わらない。</p> <p>長期的な経営の安定のため、接続率の向上、維持管理経費の節減に努めるとともに、国庫補助金を活用し、ストックマネジメント計画に基づき、施設更新を進める。</p>



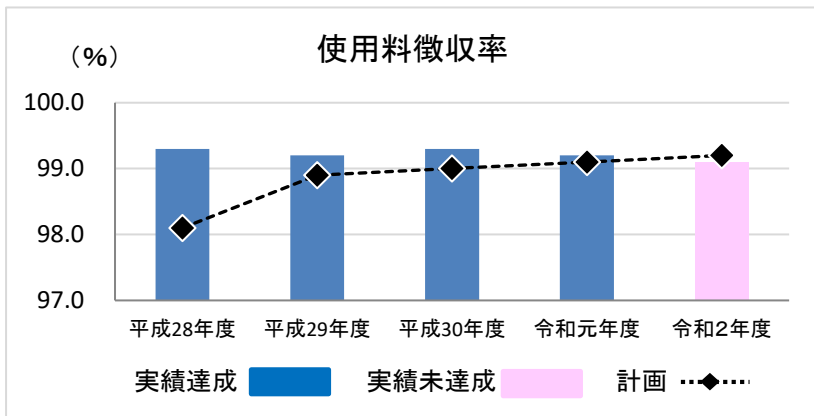
(ウ) 経費回収率

経過と今後
<p>平成29年度は、平成28年度の使用料改定による使用料収入の増加や汚水処理費の算定方法が変更となり、汚水処理費に係る起債償還分が減少したため、経費回収率は向上した。</p> <p>また、令和2年度は、公営企業会計移行により、3月末での打切決算となり、従来の出納閉鎖期間における収入は、翌年度収入となったため、収入額が減少し、経費回収率は下がった。</p> <p>長期的な経営の安定と独立採算の経営を図るため、接続率の向上や、さらなる使用料の改定、施設の設備や機器の更新にあつては、国の補助制度を活用し計画的かつ効率的に進める。</p>



(エ) 使用料徴収率

経過と今後
<p>使用料の徴収は、水道課と連携しての効率的な収納対策や預金差押えなどの滞納処分を行い、ほぼ計画と近い値で推移している。</p> <p>長期的な経営の安定と負担の公平性を図るため、引き続き徴収率向上に努める。</p>



(3) 定員管理に関する取組

下水道管渠整備や処理場整備、改築更新等の多くの建設事業を予定しており、業務量の増加を見込むことから、業務遂行に必要な人員の配置を総務課と調整しました。

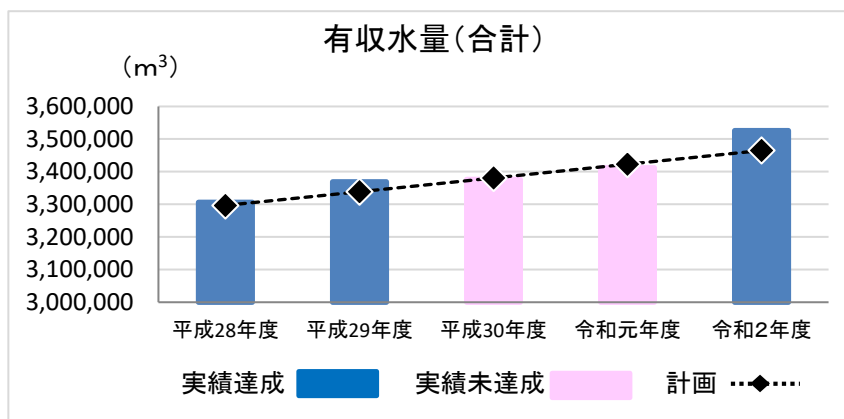
(4) 給与の適正化に関する取組

公共下水道事業では、職員の業務負担の平準化を図り、時間外勤務の縮減に努めるとともに、担当業務に応じて、適正な予算科目からの執行を行いました。

(5) 年間有収水量状況

(単位: m³)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
袋井処理区	計画	2,491,824	2,521,525	2,551,226	2,580,927	2,610,628
	実績	2,508,311	2,563,872	2,565,563	2,594,711	2,674,727
浅羽処理区	計画	804,921	817,280	829,639	841,998	854,357
	実績	797,917	805,597	810,954	817,373	851,275
合 計	計画	3,296,745	3,338,805	3,380,865	3,422,925	3,464,985
	実績	3,306,228	3,369,469	3,376,517	3,412,084	3,526,002



(6) 主要施策

	施設名	実施期間	内容(理由)
1	ストックマネジメント計画による電気設備更新計画の策定	計画	平成30年度～令和元年度
		実績	令和元年度～令和2年度
2	地方公営企業法適用に向けた移行事務	計画	平成29年度～令和元年度
		実績	平成29年度～令和元年度
3	袋井浄化センター「アクアピュア」水処理施設の増設	計画	平成29年度～令和元年度
		実績	令和元年度～令和3年度
4	アクアパークあさば汚泥脱水機の増設	計画	令和元年度～令和2年度
		実績	令和3年度～令和5年度
5	公共下水道全体計画の変更	計画	平成28年度～平成30年度
		実績	平成29年度

(7) 設備投資状況

(単位：千円)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
アクアパークあさば 電気設備	計画	0	0	0	6,025	59,100
	実績	0	0	0	5,500	30,950
袋井浄化センター 電気設備	計画	0	0	0	0	17,000
	実績	0	0	0	0	10,530
袋井処理区 管渠整備	計画	279,000	454,000	666,479	694,266	510,000
	実績	347,142	481,225	592,033	529,280	443,224
浅羽処理区 管渠整備	計画	189,000	69,000	202,973	162,000	161,000
	実績	165,332	126,641	195,960	186,031	191,348
袋井浄化センター 水処理施設増設	計画	0	128,000	61,000	103,111	763,000
	実績	0	19,440	47,520	97,000	763,000
袋井浄化センター 汚泥処理設備増設	計画	0	0	0	8,000	22,000
	実績	0	0	0	7,740	20,000
袋井浄化センター 放流渠の築造	計画	0	0	0	15,000	0
	実績	0	0	0	14,790	0
袋井浄化センター 地震対策	計画	0	0	0	34,000	63,000
	実績	0	0	0	33,000	65,000
アクアパークあさば 汚泥脱水機増設	計画	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0
合 計	計画	468,000	651,000	930,452	1,022,402	1,595,100
	実績	512,474	627,306	835,513	873,341	1,524,052

注)金額には事務費を含む。

3 経営基盤強化への取組

(1) 経営改革への取組

項 目	概 要		取組状況				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
汚水処理施設等のストックマネジメント 計画策定の検討	機械・電気設備等の効率的な維持管理計画の策定	計画	調査	検討	実施		
		実績	調査	実施	実施		
地方公営企業法の適用	経営の健全化を目指し地方公営企業会計の導入を図る	計画	基本計画策定	移行事務	移行事務	移行事務	適用
		実績	基本計画策定	移行事務	移行事務	移行事務	適用
経営診断の実施	5年に一度適正な使用料を検討する(水道料金等懇話会)	計画				実施	
		実績				実施	
公共下水道事業計画の見直し	全体計画及び事業計画の変更を行う	計画	基本構想変更	全体計画変更	都決・事計変更		
		実績	基本構想変更	都決・全計変更	事計変更		

(2) 人材育成への取組

公共下水道事業では、下水道整備や施設の維持管理、会計処理などの専門的知識を有する職員育成のため、外部研修として、県主催の土木技術職員研修、地方共同法人日本下水道事業団や下水道協会、静岡県などが開催する技術職員育成研修や会計、経営に関する研修会等を通して技術・知識の習得を行いました。また、内部研修として、施工現場での立会など実地に基づく技術の継承を行いました。

4 参考（各種計画相関図）

